



# 高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



## 卓話 年頭雑感

増田 耕太郎 会員

毎年、1月は第2週目の土曜日の午後1時から高校3年のときの仲のよいメンバーでクラス会をやっております。今年も10日にやりました。今年の幹事は、いつも例会の時に世話していただいている生嶋さんのお父様で、そう市会議員の生嶋洋一君で、彼がロッパ会会長で、つまり我々の恩師が古川先生というお名前です。そこから古川ロッパの名前を拝借してこういう会になっております。

「よう!」「おう!元気があったか?」「まあまあな!」「いやあ、いろいろあってな～」といつも会は大いに盛り上がり、午後1時に始まった会も、いつの間にか2次会・3次会と・・・日はとっぷり暮れて7時～8時に終わり、「ほんじゃ又な～今度な。元気でやれよ!」と別れるのが常でありました。

ところが、今年の新年会はいつもと違っていたのです。それは、仕事始めの5日の朝9時頃の1本の電話が始まりだったのです。電話を取った家内が「ええっ!本当!うそ!ちょっと待って代わるから・・・あなた大変、今同級生のさんから、唯々さんが急に亡くなったとの電話やから早く出て!」ということどびっくりして話を聞くと、1月3日の夜10時頃家で飲んでから、ちょっと酔い覚ましにといってお家を出て100mぐらいのところまで倒れ、ちょうど通りがかりにそれを見た人が救急車を呼び、順心病院に搬送されたものの、手当ての甲斐なく5日の早朝に亡くなったとの連絡でありました。(くも膜下出血ということでありました)



実は、倒れた3日の午後1時過ぎに私の携帯電話に彼からの不在着信が入ってまいりました。それに気付いたのは、4日の日だったのです。1日経っているし、急用ならすぐに又掛けてきていただろうし、どうせ10日の同窓会のことだろうと、のんびり思って私から掛け直すことをしなかったのです。

まさか、そんな事になっていたなんて!思わず絶句致しました。亡くなった友人は、小さい頃から絵を書くのが大好きで、大阪芸大を出て、油絵をやり、去年の秋には大塩の入り口、こちらから走っていくと線路沿いの一番かかりにある納屋というか倉庫を買い取って夫婦で手を加えて画廊に作り変えて「ギャラリー大塩」として年末にオープンしたばかりでありました。彼もここで自分の作品はもちろん、いろんな方々の作品を展示してもらい、地域の皆様の安らぎの場所にしたいとはっきり言っておりました。

1月6日の夕刻、お通夜に行きました。

御寺院は臨濟宗ということで最初に「般若心経」を上げられていました。

話は少し変わりますが、私の1日のスケジュールの始まりは、ちょっと熱めの朝風呂に入ってからまず、仏様に灯明を上げて1日の終わりには今日もありがとうございました・とお経を上げてから食卓につきます。私のところは、親鸞上人の浄土真宗本願寺派です。前から気になることがあって、浄土真宗には「般若心経」がないのです。よくテレビなどで写経の風景が映し出される場面がありますが、あのわずか278文字の中にはどういう教えが書かれているのか、大変興味がありましていろいろな本を開いてみたが良く分かりませんでした。西田さ

んにお聞きすればとも思いましたが、あまりお心を煩わせてもいけません。そうこうしているうちに、本屋でパッと目に飛び込んできた本がありました。それは「1998年『尋ね人の時間』で芥川賞を受賞し、2003年に発売した写真詩集『千の風になって』が話題を呼び、CDシングル&アルバム又DVDなどがロングセラーになった、あの新井満さんが「般若心経」が言わんとする教えのコンセプトをお年寄りにも、あるいは中学1年生の少年少女にも分かってもらえるように・・・と映像的に、わかりやすい言葉に置き換えたという本を見つけました。

今回は、この本を通して般若心経には一体どういうことが書かれているかをお伝えしたいと思います。

## 般若心経を朗読！

おおよそこのように般若心経は決して虚無的で否定的な経典ではなく、むしろその反対に貴賤上下の区別なく、どんな人生に対しても積極的で肯定的な意味を見つけ出し、生きる勇気と希望を与え励ましてくれるお釈迦様からのメッセージであり、生きる力を与えてくれる「命の経典」だということが分かりました。

私は友人のお通夜で、心の中で思わずお坊様の声に合わせて般若心経を唱えておりました。喪主を務めた息子さんが、「父は常々人生は太く短くが口癖だった。一生懸命働き、少しゆとりある時間が出来た今、大好きな絵を見ていただき又、いろいろな方の作品を展示できる、小さくても温かみのある画廊を作りたいとの思いを叶え、12月初旬に私の誕生日にオープンセレモニーをやり、1月2日初詣から帰って私が写していたオープン時のビデオを家族と見て一緒にビールを飲みながら本当に楽しそうにしていた父でしたので、おそらく悔いは残らなかったらうと思っております・・・。」と最後の挨拶の中で申されておりました。

新年早々、このような湿っぽい話で申し訳ありませんでしたが、まさに「禍福は糾なえる縄の如し」と申します。今後もメンバーの皆様方におかれましても日々、一日一生のつもりで楽しく元気で生きていきたいと思ってあえてお話をさせて頂きました。

ご清聴を心から感謝致します。ありがとうございました。



「般若心経」の全文  
仏説摩訶般若波羅蜜多心経  
親自在菩薩 行深般若波羅蜜多時  
照見五蘊皆空 度一切苦厄 舍利子  
色不異空 空不異色 色即是空  
空即是色 受想行識亦復如是  
舍利子 是諸法空相 不生不滅  
不垢不淨 不增不減 是故空中  
無色 無受想行識 無眼耳鼻舌身意  
無色声香味触法 無眼界  
乃至無意識界 無無明 亦無無明尽  
乃至無老死 亦無老死尽  
無苦集滅道 無智亦無得 以無所得故  
菩提薩埵 依般若波羅蜜多故  
心無罣礙 無罣礙故 無有恐怖  
遠離一切顛倒夢想 究竟涅槃  
三世諸佛 依般若波羅蜜多故  
得阿耨多羅三藐三菩提  
故知般若波羅蜜多 是大神呪  
是大明呪 是無上呪 是無等等呪  
能除一切苦 真實不虛  
故說般若波羅蜜多呪 即說呪曰  
揭諦 揭諦 波羅揭諦 波羅僧揭諦  
菩提薩埵訶 般若心経



President

## 会長の時間

皆さん、新年明けましておめでとうございます。例年ですと、新年1月の第一例会が新年家族例会となるところでございますが、例年日程重複のために新年家族例会に出席できない方々がいらっしゃるため、今年は日程を変更しております。従いまして、第二例会が新年家族例会となりまして、第一例会は、ホームグラウンドである当会場での開催となっております。

さて、昨年末から話題になった派遣村で代表されるように、このところ景気が随分と冷え込んでいるようです。また、年末から年始にかけて、天候の面でも随分と寒さが厳しくなってきました。しかしながら、景気にしても、天候にしても、これらは必ず循環いたします。「冬来たりなば、春遠からず」です。前途に夢と希望を抱いて、新年をスタートしたいものと思っています。

ところで、本日より2008～09年度下半期がスタート致します。皆さんに支えて頂きながら、折り返し点を迎えました。私自身一向に学習効果が上がっておりませんが、ロータリーの友情を持ちましてお許し頂きたく願っております。どうぞよろしくお願い致します。



Donation

## ニコニコ報告

### 鹿間 行雄

新年おめでとうございます。本日から下半期がスタート致します。よろしくお願い致します。

岡本 崇司・濱中 幹雄・都倉 達殊  
田中 浩行・京谷 慎平・原田 義之  
井野 隆弘・植杉成一郎・嶋谷 拓雄

新年おめでとうございます。

菱田 克己・澤田 孝彦・大森 千里  
中谷 利幸・増田耕太郎・栗原 康高  
中右 和宏

新年おめでとうございます。

### 竹原 俊三・大橋 卓司

増田さん、卓話たのしみにしています。

### 辻田 重恵

年末にもかかわらず、父の葬儀に多数来ていただき本当に有難うございました。心より感謝申し上げます。

### 志方 正昭

本年もよろしく御願います。  
王彩麗さん、ようこそ！

### 廣瀬 明正

本年もよろしく御願います。

### 内海 薫

誕生日お祝い有難うございませ。

### プログラム予定

1月17日(土)	1月28日(水)	2月7日(土)	2月11日(水)
新年家族例会 18:00～20:15 於:ウェディングパレス 鹿島殿 【親睦委員会担当】	創立メンバーによる 卓話 【ロータリー情報委員会担当】	東播第2グループI.M. 【ホスト 加古川平成R.C.】	休会 (祝日のため)

高砂青松ロータリークラブ

通 算	第 3 7 7 回
2008 ~ 2009	第 7 回
日	平成 21 年 1 月 14 日
場 所	高砂商工会議所

出席者

出席者				臨時出席者	
鹿 間 行		増 田		中 右	プログラム
菱 田		森 脇	×	竹 原	副幹事
岡 本		矢 野	×	澤 田	親 睦
小 林	×	鹿 間 虹			
廣 瀬		原 田			

報告事項： 出席報告 (菱田 克己) (右記参照 )  
 会費納入状況 (小林 久夫) 1 2 月末 98.08%

議案事項：

- 1月, 2月のプログラムの件 (右記参照 )  
 1月17日(土)新年家族例会の件【1月21日(水)例会分】 .....承認  
 2月7日(土)東播第2グループI.M.【2月4日(水)例会分】  
 岡本幹事から概要説明があった  
 3月11日(水)合同例会の件《ホスト高砂青松R.C.》  
 中右プログラム委員長から概要説明があった  
 3月18日(水)職場例会の件  
 電源開発高砂発電所において実施することで承認
2. その他  
 2月理事・役員会会場変更 2月18日(水)例会終了後  
 場所：ふれあいの郷生石 レストランにゅーはりま  
 「新世代の主張」収支報告の件  
 鹿間虹美新世代委員長から報告(当クラブ負担額30,603円)があり,承認された  
 喜寿,米寿のお祝い  
 1月17日開催の新年家族例会において該当者2名に行うことで決定  
 次年度以降も,新年家族例会において行うことに決定した  
 チェンライR.C.にマッチングランド事業遂行の為に,原田国際奉仕委員長が訪問することが承認された

出席報告

11月度 本クラブ出席率 76.11% メークアップ率 10.16% 修正出席率 86.67%

12月度 本クラブ出席率 63.69% メークアップ率 % 修正出席率 % (途中経過)

	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	12/23
会 員 数	52	52	52	52	52	52	52	52
出 席 数	34	32	36	35	32	36	29	17
メークアップ	3	7	6	3	4	5		
欠 席 数	8	6	4	6	8	6		
出席免除	10	10	10	10	10	10	10	10

1, 2月のプログラム

1 月		2 月	
7	休会【定款第6条第1節(c)による】	4	2月7日(土)に変更 東播第2グループ I.M. 【ホスト 加古川平成R.C.】
14	卓話 増田耕太郎会員	11	休会(祝日のため)
21	1月17日(土)に変更 新年家族例会 18:00~20:15 於:ウェディングパレス鹿島殿 【親睦委員会担当】	18	卓話 原田会員 於:ふれあいの郷生石研修センター 【国際奉仕委員会担当】
28	創立メンバーによる卓話 【ロータリー情報委員会担当】	25	卓話 西田会員



Secretary 幹事報告

第24回 通算1388回

1. 回覧その他

ロータリーレートが1ドル=88円になります。2009年1月より  
国際ロータリー第2680地区ロータリー財団委員会よりロータリーカード推進の  
お願いが届いております。  
バーミンガム国際大会参加のご案内が届いております。  
日赤より献血状況が届いております。  
国際交流協会より国際交流通信が届いております。  
米山奨学委員長へ財団普通寄付金送金のお願い



Neighbor-club information 近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日 時・場 所
姫路中央ロータリークラブ	西播第1グループI.M.のため	2/12(木) 2/14(土)

## 例会記録 2009. 1. 14 (水) 通算1464回

ソング 「君が代」「我等の生業」「歓迎歌」

4つのテスト 記録委員長 中谷 利幸

本日のゲスト 米山奨学生 王 彩麗さん

出席報告 12月17日 会員数 52名 欠席者 12名 出席率 76.92% <修正による>  
(この内出席免除者9名)  
1月14日 会員数 52名 欠席者 19名 出席率 63.46%  
(この内出席免除者9名)

### 播磨ゆかりの偉人伝 ②4

#### 阿江 与助 (あえ・よすけ)

#### 加古川舟運のパイオニア

東播磨の平野を縦貫し、全長96キロの兵庫県一の大河・加古川。その中流、加東市上滝野に名勝「闘龍灘」がある。川床に広がる奇岩・怪石が激しい水流を作りだし、巨龍の躍動に似ているところから名付けられた。また、毎年5月1日、全国で一番早く鮎漁が解禁となる「飛び鮎」の名所として知られている。

その「闘龍灘」を見下ろすように西側の高台に建てられているのが今回登場の阿江与助の銅像である。加古川舟運(しゅううん)の開拓者で、東播磨の動脈構築に成功した。また鮎が飛び上がる習性を利用、導入路に仕掛けた“罾(かけい)”で捕獲する「飛び鮎漁」を奨励し、地元漁業にも貢献した。

加東郡河高村(現加東市河高)生まれ。ただし、生年は不明である。豊臣秀吉が天下統一を実現した文禄3(1594)年、姫路城にいた秀吉一族の木下家定の奉行・生駒玄蕃頭から、与助は滝野一高砂間の河川改修と舟運開発を命じられた。貢米の輸送をスムーズにするのが大きな目的である。

難工事だった。いたるところにある通船を妨げる岩石を撤去、そして川底の砂利を取って浅瀬に水路を通すわけだが、なにしろ当時は機械も道具もない時代。突き出た岩はノミを入れて割ったり、テコを使って取り除くなどすべて手作業。まさに人海戦術で仕事をなした。約10メートルの高瀬舟での舟運のスタートである。

慶長9(1604)年、今度は姫路城主・池田輝政から命が下った。「闘龍灘」上流の川底ざらえと高砂港の整備である。与助は多可郡黒田庄町の西村伝入齋とともに工事を進め、2年後には丹波本郷までの通船が可能になった。完成後、二人には積み荷の通行税が取れる舟座元締役の権限が与えられた。

沿線の物資の大部分はこの川を利用して運ばれ、海路を経て販路は大阪方面まで広がった。当時、百数十隻が往来し沿線河港は大正2(1913)年の播州鉄道開通までにぎわった。

(主な参考文献=ビジュアルブックス編集委員会・編「時代のパイオニアたち」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)